学校だより

逢坂

大津市立逢坂小学校

人・自然と豊かに関わる子どもの育成
よく考える子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども

令和５年２月号　　児童数 469 名

早くも２月です。１月はあっという間に過ぎてしまったように感じます。２月は２８日までと日数が少ない上に、祝日が２日あります(１１日は土曜と重なっていますが･･･)。１月は行く、２月は逃げる、３月は去る･･･もっと１日１日を大事にしなければと反省する今日この頃です。

さて、２月と言えば節分。「自分の中にいる『〇〇鬼』をやっつけよう」というお話を学校ではよく行います。今はまず、コロナやインフルエンザという鬼をやっつけて、２月も元気に過ごしましょう！

２月行事予定

※行事予定の変更がある場合は、学年通信等でお知らせします。

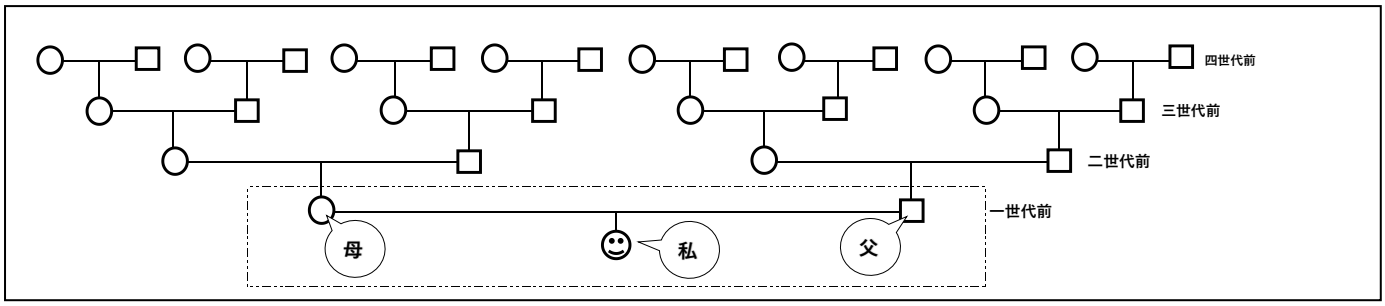
1	水	登校指導	16	木	
2	木	3 年生校外学習　4 年生川の学習	17	金	授業参観(2,3 校時)　食育の日
3	金	学校運営協議会	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	4,5,6 年 6 校時　打出ブロック挨拶運動
6	月	委員会活動　学校集金日	21	火	打出ブロック挨拶運動
7	火	4 年生出前授業	22	水	打出ブロック挨拶運動　下校指導 エンジョイありがとうさようなら遊び
8	水	エンジョイ活動(昼休み)	23	木	天皇誕生日
9	木		24	金	
10	金	150 周年記念セレモニー 記念植樹	25	土	
11	土	建国記念日・本校創立記念日	26	日	
12	日		27	月	クラブ活動(最終)　教育相談日
13	月	クラブ活動　図画工作校内作品展 教育相談日	28	火	6 年生を送る会
14	火	ブックママ			
15	水	登校指導			

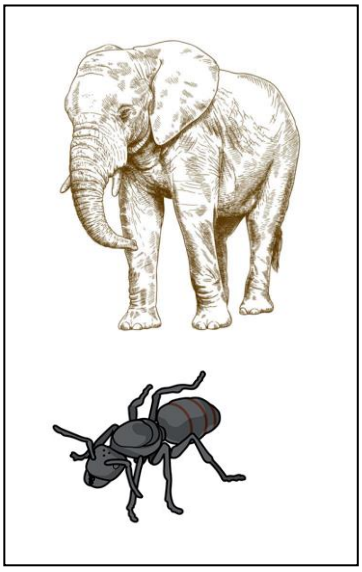
学校行事等における商業施設への駐車禁止について(お願い)

授業参観日など、学校行事で来校される場合は、学校周辺の商業施設（コンビニエンスストア等）駐車場に自動車の駐車をお控えくださいますようお願いします。営業のご迷惑となりますのでご理解ご協力をお願いします。

校長室から　なぜ自分は、友だちは大切か？～「奇跡の命」の話【２月の校長講話より】

※終業式や始業式のない月の月初めには、ZOOM で短時間の校長講話を行っています。





象とアリ、どちらの命が大きいでしょうか。答えは、「同じ」です。身体の大きさは違うけれど、命はどちらにも一つ。命の大きさに違いはありません。私たち人間や象やアリなど、生きているものは皆、大切な命をたった一つだけ、もらって生まれてきます。地球上には 870 万種類もの生き物がいるそうです。その中で、私たちは象でもアリでもなく、人間として生まれました。

さて、人間のことを考えましょう。私は父と母との間に生まれました。生まれる前に父か母が別人になったら、私は生まれてこず、「他の誰か」が生まれています。私は、父と母からはじまるご先祖から命を受け継いで生まれてきています。いったい何人、自分につながるご先祖がいるのか、時間をさかのぼってみましょう。父と母にも、それぞれ父と母がいて、私につながるご先祖は４人増えました。そのおじいちゃんとおばあちゃんにもそれぞれ父と母がいて、ご先祖は 8 人増えます。さらに、そのご先祖にも父と母がいます。さかのぼるにつれて 2,4,8,16,32 と 2 倍ずつ、ご先祖が増えます。20 世代前までさかのぼると、およそ 400 年前の江戸時代になり、その時代を生きるご先祖はなんと約 100 万人。当時の日本の人口は 1,200 万人と言われていますから、江戸時代の人、12 人のうち、1 人は自分のご先祖様！という計算になります。さて、「ご先祖、置き換えゲーム」をやってみましょう。図ではたった 4 世代しか描いていませんが、ご先祖のうち 1 人を選んで赤丸で囲みます。その人が別人に入れ替わったら、当然、その子どもも別人に替わります。またその子どもも別人に･･･と、別人になった人を赤丸で囲んでみると、「私」はどうなりましたか？どのご先祖であっても 1 人を別人にするだけで、「私」は生まれてこないのです。私が「私」として生まれてくることは、二度とない、たった一度限りの奇跡なのです。

人間に生まれた奇跡に加え、他の誰でもない「私」に生まれた奇跡･･･となりの友だちを見てください。その友だちも、ものすごい奇跡の結果として生まれてきています。なんだか、お互いに輝いて見えるでしょう？誰もがすごい奇跡で生まれてきているから、せっかく生まれてきた奇跡を互いに大切にするために、お互いに大切にして、力を貸し合うのです。

二度とない奇跡で生まれてきたのだから、自分を大事にして一生懸命に生きよう。自分の人生を精一杯、生き抜こう。つらいことや悲しいこともあるけれど、870 万種の生き物のうち、人間だけが、どこで、誰と、何をして暮らすか、選べるのです。私たちは、どこにでも行けるし、何者にだってなれるのです。

校長先生の話を聴いて、人として、自分として生まれた奇跡を感じ、自分の命を輝かせるために一生懸命にがんばろうと思ってくれる子が増えるとうれしいです。